

海の生きもの観察ノート⑧

海の鳥を観察しよう



千葉県立中央博物館分館
海の博物館

はじめに

海は、地球の表面の約70%を占めています。広大な海の世界を生活場所にした鳥の中には、ダイナミックに長距離を飛行したり、巧みな潜水能力を身につけたものもあります。そんな鳥たちの暮らしは、海の世界やほかの海の生きものと密接な関わりを持っています。

千葉県の世界は全国でも有数の多様性に満ちた興味深い海です。海の世界の観察から、千葉世界のさまざまな海の世界や海の世界を受けている私たちのことも見えてくるかもしれません。

単に「海鳥」と言えば、厳密には外洋性の鳥だけを指しますが、本冊子では、沿岸で見られる種も含めて「海の世界」としてまとめました。海の世界は、観察者から遠く離れていたり、似ている種がいたりして見分けが難しいと言われます。海の世界に親しんでいただくために、できるだけ識別のポイントを中心に解説しました。

海の世界に少しでも興味を持っていただき、豊かな千葉世界の海を見直す機会となれば幸いです。

目次

1	いろいろな海の世界が見られる千葉県	1
2	さまざまな海の世界と鳥	2
3	観察のポイント	3
4	岩礁海岸や港の鳥	4
5	砂浜海岸や干潟の鳥	15
6	沿岸や外洋の鳥	29
7	海の世界の生活	35
8	索引	36

表紙の写真 左上：シノリガモ（前）とウミネコ 右上：オオミズナギドリ
左下：ヒメウ 右中：ベニアジサシ 右下：キョウジョシギ
裏表紙の写真 クロサギ

1 いろいろな海の鳥が見られる千葉県

千葉県は三方を多彩な海岸線に囲まれています。おだやかな東京湾と波荒い外房、岩礁海岸と広大な九十九里浜や三番瀬などの干潟と、実に多彩な海岸環境があります。そうした多様な海岸には、異なった自然環境に合わせてさまざまな海の鳥が生活をしています。

また、千葉県は日本列島のほぼ中央にあり、暖かい黒潮と冷たい親潮の両方の影響を受ける位置にあることから、カツオドリやゲンカンドリ類、ネッタイチョウ類などの南方系の種と、ウミスズメやウトウ、コオリガモなどの北方系の種の両方が記録されています。

さあ、双眼鏡を手に、近くの海に出かけてみましょう。



シロカモメ

銚子沖は黒潮と親潮の潮境にあたり、たくさんの魚が集まります。ミズナギドリ類やカモメ類などの多くの海鳥も集結してきます。

銚子漁港はカモメ類観察のメッカとなっているほか、イルカウォッチングなどの船に乗れば外洋の鳥が観察できます。

東京湾内にはもともと連続した広大な干潟がありました。埋め立てが進みましたが、三番瀬をはじめ、谷津干潟、盤洲干潟、富津干潟などの残された干潟には、シギ・チドリをはじめとする多くの鳥が観察されます。

行徳鳥獣保護区や谷津干潟には野鳥を観察するための施設があります。



九十九里浜は 60 kmにも及ぶ日本有数の広い砂浜海岸です。

近年の調査から、ミユビシギやクロガモなどの重要な越冬地であることや、いろいろなアジサシ類の見られる場所であることが明らかになってきました。

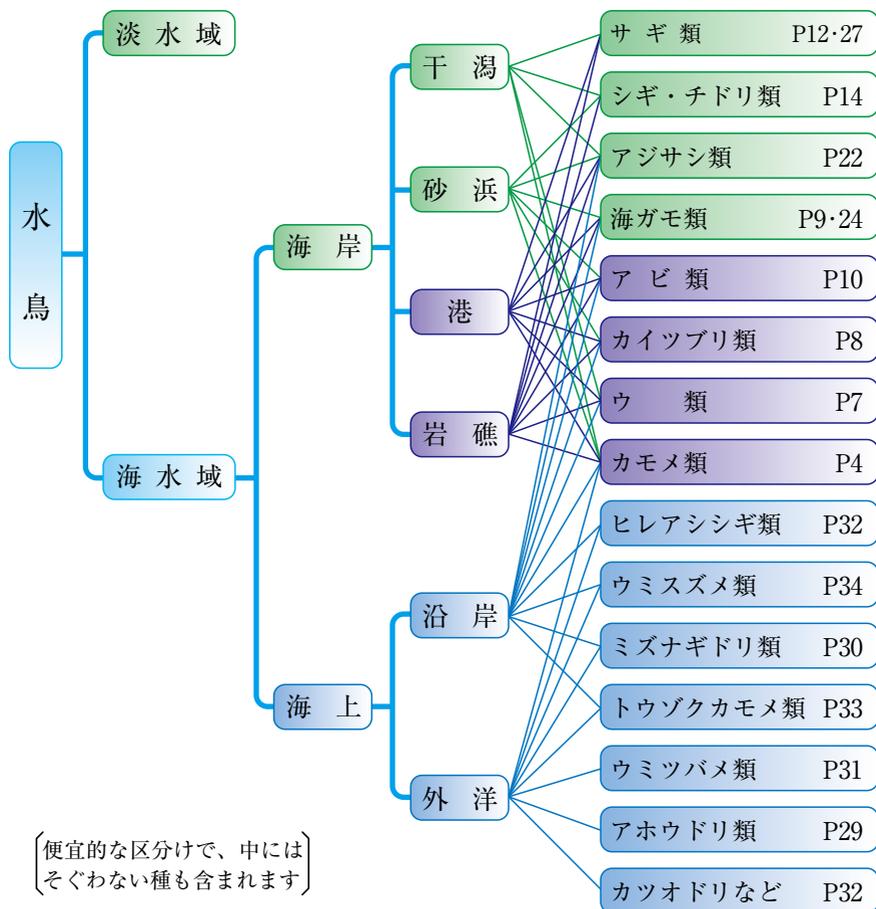


外房は、岩礁海岸が多く、クロサギやイソヒヨドリ、ウミウやカモメ類などがよく見られます。

大きな干潟はほとんどなく、夷隅川河口にわずかな塩性湿地が残されています。

2 さまざまな海の環境と鳥

海岸の環境によって、現れる鳥の種類は違います。どんな場所にどんな鳥がいるか知っておくと観察の大きな手がかりになります。

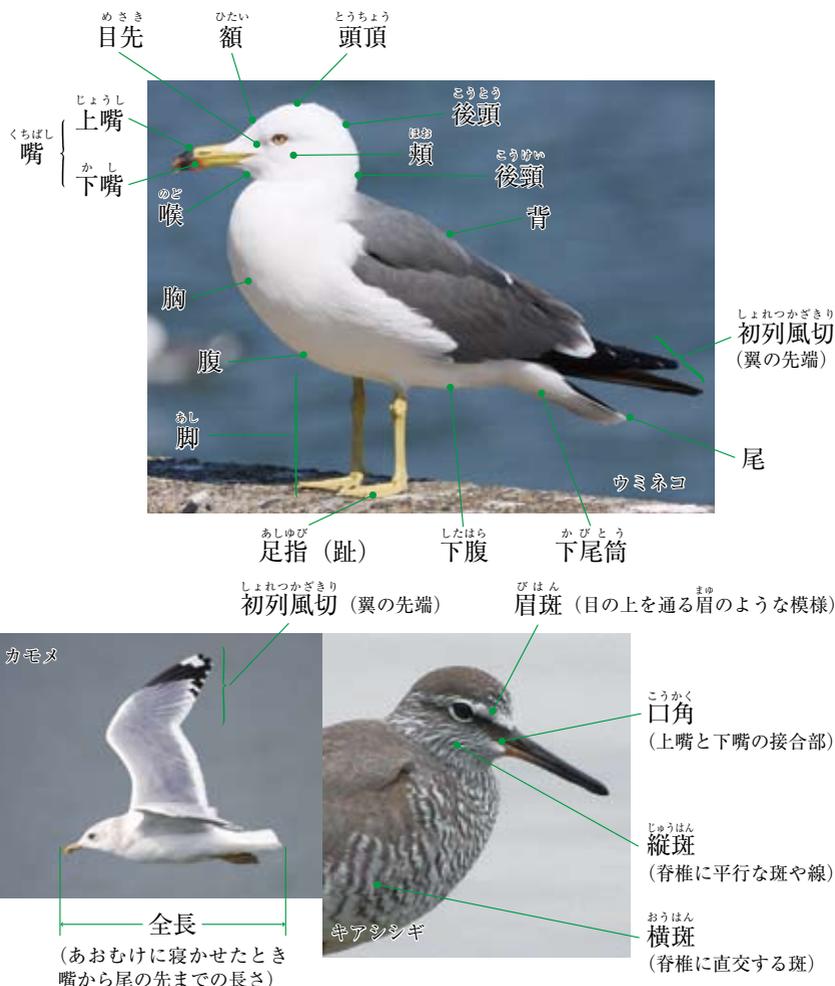


3 観察のポイント

一見すると何もいえないように見える海でも、双眼鏡や望遠鏡などでさがしてみると意外に多くの鳥が見つかります。

鳥の名前を調べるには、まず鳥の大きさや体型からどんな鳥のなかまなのかしぼります。次に、そのなかまの中の何という鳥か、目印になる特徴（フィールドマーク）を確認します。本冊子では、その目印になる特徴を簡単に示し、鳴き声が手がかりになる種は鳴き声も示しました。

説明のために次のような各部の名称を使っています。



日頃から図鑑に親しんでおくと出会った時の喜びが倍増します。詳しく知りたい人は、海辺で開催される観察会に参加したりして、ベテランの人と一緒にいくのもよいでしょう。

4 岩礁海岸や港の鳥

岩礁海岸では、夏はクロサギやイソヒヨドリなどが繁殖し、冬にはカモメ類やウ類が多数飛来します。冬の漁港に行って鳥を探してみましょう。カモメ類だけでなく、カイツブリ類やアビ類にも会えるかもしれません。



いすみ市大原漁港 2007.12.26 (F)

ユリカモメ

Larus ridibundus

分類：チドリ目カモメ科

出現：冬 港や河口・沿岸 淡水域にもよく入り、都会に多い

- 特徴：全長40cm 小型のカモメ
- ・冬羽では、頭が白く目の後方に黒褐色の斑がある
 - ・嘴と脚の赤色が目立つ
 - ・夏羽では、頭が黒くなる



銚子市銚子漁港 2008.3.6 (F)

セグロカモメ

Larus argentatus

分類：チドリ目カモメ科

出現：冬 沿岸や港など

- 特徴：全長61cm 大型のカモメ
- ・背中が淡い灰色なので、翼の先端（初列風切）の黒色がコントラストになり目立つ
 - ・大型のカモメ類の成鳥はみな嘴が黄色で下嘴に赤斑がある

4 岩礁海岸や港の鳥 (カモメのなかま)



いすみ市大原漁港 2008.3.17 (F) (左:若鳥)

オオセグロカモメ

Larus schistisagus

分類: チドリ目カモメ科

出現: 主に冬 沿岸や港など

特徴: 全長64cm 大型のカモメ

- ・翼上面は一様に黒っぽい
- ・脚はピンクで嘴は黄色
- ・若鳥は全身に褐色斑がありセグロカモメの若鳥に似る



勝浦市川津漁港 2008.2.5 (F)

ワシカモメ

Larus glaucescens

分類: チドリ目カモメ科

出現: 冬 沿岸や港など

千葉県への渡来数は多くない

特徴: 全長65cm 大型のカモメ

- ・翼の先端(初列風切)と背の色が同じ薄い灰色
- ・嘴が大きい



銚子市銚子漁港 2008.3.1 (F)

シロカモメ

Larus hyperboreus

分類: チドリ目カモメ科

出現: 冬 沿岸や港など

数は少ないが毎年渡来する

特徴: 全長71cm 大型のカモメ

- ・全体に白い体、背の灰色はよく見るカモメ類で最も薄い
- ・どの年齢でも翼の先端(初列風切)が白い



いすみ市大原漁港 2008.2.4 (F)

ウミネコ

Larus crassirostris

分類：チドリ目カモメ科

出現：ほぼ通年 沿岸や港

夏は数が少なくなる

特徴：全長47cm 中型のカモメ

- ・ 嘴の先端に黒と赤の斑
- ・ 飛んだ時、尾に黒い帯
- ・ 脚は黄色

鳴声：「ミャー」と猫のような声で鳴くのでこの名がついた



いすみ市塩田川河口 2009.1.6 (F)

カモメ

Larus canus

分類：チドリ目カモメ科

出現：冬 沿岸や港など

特徴：全長44cm 中型のカモメ

- ・ 嘴と脚が黄色
- ・ 翼の先端が黒く白斑がある
- ・ 冬羽では、頭部から首に褐色のごま塩斑が入る



勝浦市勝浦漁港 2008.3.26 (F)

ミツユビカモメ

Rissa tridactyla

分類：チドリ目カモメ科

出現：冬 主に外洋 荒天時港に入ることもある

特徴：全長41cm 小型のカモメ

- ・ 目の後方に黒斑
- ・ 嘴はレモン色でやや下に反り斑がない
- ・ 脚は黒く短い



いすみ市夷隅川河口干潟 2008.12.1 (F)

カワウ

Phalacrocorax carbo

分類：ペリカン目ウ科

出現：通年 内湾や湖沼・川
東京湾岸などで繁殖

特徴：全長81cm

- ・嘴の付け根の黄色い部分（裸出部）がウミウより広い
- ・体全体に褐色味



勝浦市川津漁港 2008.12.4 (F)

ウミウ

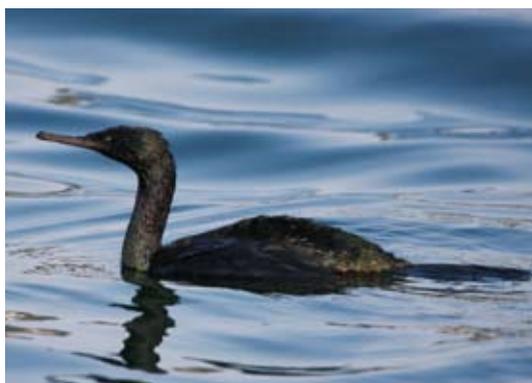
Phalacrocorax capillatus

分類：ペリカン目ウ科

出現：主に冬 岩礁海岸や港

特徴：全長84cm

- ・嘴の付け根の黄色い部分が尖り、カワウより狭い傾向
- ・頬の白色部が目より上の高さまで上がっている
- ・体全体に緑色の光沢



勝浦市勝浦漁港 2008.3.13 (F)

ヒメウ

Phalacrocorax pelagicus

分類：ペリカン目ウ科

出現：冬 岩礁海岸

特徴：全長73cm

- ・ウミウより小さく嘴が細い
- ・嘴基部の裸出部はほとんど見えず、顔が真っ黒に見える
- ・緑色や紫色の光沢



いすみ市大原漁港 2007.12.14 (F) (冬羽)

ハジロカイツブリ

Podiceps nigricollis

- 分類：カイツブリ目カイツブリ科
出現：冬 海岸や河口・沼
東京湾などで春先に大きな群れが見られることがある
特徴：全長31cm
・嘴がやや上に反っている
・頭部の黒褐色が目の下まで



いすみ市大原漁港 2008.1.7 (F) (冬羽)

ミミカイツブリ

Podiceps auritus

- 分類：カイツブリ目カイツブリ科
出現：冬 岩礁海岸や砂浜海岸の沿岸や内湾・港・湖沼
特徴：全長33cm
・頭部の黒褐色と頬の白色部の境がはっきりしている
・嘴の先端に白斑
・目と嘴が赤い線でつながる



いすみ市大原漁港 2008.4.29 (F) (夏羽に移行中)

アカエリカイツブリ

Podiceps grisegena

- 分類：カイツブリ目カイツブリ科
出現：冬 沿岸や港・湖沼
特徴：全長47cm
・嘴の付け根が黄色で先端は黒い
・夏羽では名前の通り、首が赤くなり、頬は白くなる



いすみ市大原漁港 2008.4.21 (F) (夏羽)

カンムリカイツブリ

Podiceps cristatus

分類：カイツブリ目カイツブリ科

出現：冬 沿岸や湖沼など

特徴：全長56cm

- ・短い冠羽（頭にあるとび出た羽毛）と胸の白が目立つ
- ・カイツブリ類で最大
- ・春に大きな群れになる時も
- ・夏羽は頬に赤褐色の飾り羽



船橋市三番瀬 2006.4 (Y) (左:雄 右:雌)

ウミアイサ

Mergus serrator

分類：カモ目カモ科

出現：冬 岩礁海岸などの沿岸や港

特徴：全長55cm

- ・雄の頭は緑黒色で首は白い
- ・嘴は赤色で細長い
- ・潜って魚を捕食する
(よく似たカワアイサは冠羽がない)



いすみ市大原漁港 2007.12.24 (F) (雄)

シノリガモ

Histrionicus histrionicus

分類：カモ目カモ科

出現：冬 岩礁の多い海岸

特徴：全長43cm

- ・顔に白斑が特徴的に入る
- ・潜水してエビ、貝、ウニなどを捕食



いすみ市夷隅川河口 2008.2.17 (F)

アビ

Gavia stellata

分類：アビ目アビ科

出現：冬 砂浜海岸や岩礁海岸の沿岸など、陸に近い海上

特徴：全長63cm カルガモ大

- ・アビ類では最も小さい
- ・嘴が上に反って見える
- ・背にハの字型の斑点が散在



勝浦市鶴原理想郷 2008.4.23 (F)

オオハム

Gavia arctica

分類：アビ目アビ科

出現：冬 砂浜海岸や岩礁海岸の沿岸など、陸に近い海上

特徴：全長72cm

- ・水上では、脇の後ろに白い羽が巻き上がって見える
- ・額のカーブがなだらか



いすみ市太東漁港 2006.3.21 (I)

シロエリオオハム

Gavia pacifica

分類：アビ目アビ科

出現：冬 陸に近い海上、まれに漁港などに入る

特徴：全長65cm

- ・オオハムに似るが、頭頂は丸みを帯び、喉にあごひものような細い線（ないものもある）



南房総市千倉漁港 2006.2.5 (I)

ハシジロアビ

Gavia adamsii

分類：アビ目アビ科

出現：冬 沿岸海域 稀

特徴：全長83cm ウミウ大

- ・アビ類で最大
- ・嘴は黄白色で大きく、やや上に反る



いすみ市岩船漁港 2007.4.28 (F) (雄)

イソヒヨドリ

Monticola solitarius

分類：スズメ目ツグミ科

出現：通年 海岸の岩場など

特徴：全長23cm

- ・雄は青い上面と栗色の腹
- ・雌は茶色でうろこ模様
- ・岩場や建物などに営巣

鳴声：「ヒヨ チー チヨ」などと雌雄とも美しい声でさえずる



鴨川市内浦 2006.7.30 (H)

アオバト

Sphenurus sieboldii

分類：ハト目ハト科

出現：通年 海岸から山林

特徴：全長33cm

- ・緑色のハト
- ・海岸で海水を飲む行動が千葉県でも観察されている

鳴声：「オーアーオー」などと不思議な声で鳴く



いすみ市大原漁港 2008.3.17 (F)

コサギ

Egretta garzetta

- 分類：コウノトリ目サギ科
出現：通年 水田や河川に普通、
海岸でもよく見かける
特徴：全長61cm
・脚と嘴は通年黒く、足指だけが黄色
・夏羽では頭に2枚の冠羽



いすみ市塩田川河口 2008.4.14 (F)

クロサギ

Egretta sacra

- 分類：コウノトリ目サギ科
出現：通年 岩の多い海岸
特徴：全長62cm
・全身が黒く脚は黄色
・群れにはならない
・南西諸島以南には白色型があり、南に行くほど多い



いすみ市夷隅川河口干潟 2008.2.29 (F)

アオサギ

Ardea cinerea

- 分類：コウノトリ目サギ科
出現：通年 海岸や湖沼・川
特徴：全長93cm
・日本のサギ類で最大
・全体に灰色っぽい
・主に待ち伏せ型の漁で、魚などを捕食する
・近年増加傾向にある



勝浦市松部 2008.7.19 (F)

コシアカツバメ

Hirundo daurica

分類：スズメ目ツバメ科

出現：夏 主に海岸近く

特徴：全長19cm

- ・腰や目の後ろが赤茶色
- ・胸には縦斑
- ・漁協などのコンクリート製建造物に営巣、巣はとっくりを縦に割って貼り付けた形



千葉市稲毛ヨットハーバー 2008.5.25 (F)

イワツバメ

Delichon urbica

分類：スズメ目ツバメ科

出現：夏 海岸や山地の岩場

主に県北部で繁殖

特徴：全長15cm

- ・白い腰、胸も白い
- ・尾は短く切れ込みも浅い
- ・巣は深いカップ型



勝浦市松部 2008.7.15 (F)

ヒメアマツバメ

Apus affinis

分類：アマツバメ目アマツバメ科

出現：通年 海岸や市街地

特徴：全長13cm

- ・翼が長く鎌形
- ・尾は短く角尾に近い
- ・コシアカツバメなどの巣を横取りし、羽毛をつめて使う



いすみ市大原漁港 2008.5.14 (F)

キョウジョシギ

Arenaria interpres

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 岩礁・干潟・砂浜

特徴：全長22cm

- ・顔から胸に白黒の模様
- ・脚は赤く、上面は赤褐色
- ・短い嘴で石をひっくり返したりして餌を探す

鳴声：「ゲレゲレ」



いすみ市夷隅川河口 2007.12.10 (F)

イソシギ

Actitis hypoleucos

分類：チドリ目シギ科

出現：通年 海岸や河川・湖沼

特徴：全長20cm

- ・翼の付け根に白色部が入る
- ・腰を上下によく振っている
- ・様々な水辺環境で見かける

鳴声：「チーリーリー」細い声



勝浦市吉尾 2008.5.16 (F)

メリケンキアシシギ

Heteroscelus incanus

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 岩礁や波消しブロック 個体数は少ない

特徴：全長27cm

- ・キアシシギによく似るが、横斑が腹部一面にある

鳴声：「フィリリリィー」

5 砂浜海岸や干潟の鳥

砂浜海岸では夏はコアジサシやシロチドリが繁殖し、冬にはミユビシギやカモ類などが越冬します。干潟には、シギ・チドリ類が春と秋の渡りの際にエネルギー補給のために訪れます。

干潟に出かけて旅鳥を探してみましょう。思わぬ出会いがあるでしょう。



夷隅川河口干潟



いすみ市夷隅川河口干潟 2008.11.14 (Na)

シロチドリ

Charadrius alexandrinus

分類：チドリ目チドリ科

出現：通年 砂浜や河口干潟

特徴：全長17cm

- ・額から眉斑と体下面が白
- ・胸の黒い帯が前でつながらない
- ・千葉県で繁殖

鳴声：「ピュル ピュル」



いすみ市夷隅川河口干潟 2007.8.4 (F)

メダイチドリ

Charadrius mongolus

分類：チドリ目チドリ科

出現：春・秋 砂浜や干潟

特徴：全長20cm

- ・夏羽では胸の橙色が目立つ
- ・冬羽や幼鳥はシロチドリに似るが、本種のほうが大きく体下面が淡褐色
- ・干潟のゴカイ類を好む

鳴声：「クリリ」



いすみ市夷隅川河口干潟 2008.10.4 (F)

ムナグロ

Pluvialis fulva

分類：チドリ目チドリ科

出現：春・秋 干潟や河口・水田・川筋など

特徴：全長24cm

- ・夏羽では胸や腹が黒くなることから命名された
- ・夏羽・冬羽とも、上面には黄褐色と黒色の斑がある



いすみ市夷隅川河口干潟 2007.8.4 (F)

ダイゼン

Pluvialis squatarola

分類：チドリ目チドリ科

出現：秋～春 干潟や河口

特徴：全長29cm

- ・夏羽では顔から腹までの黒色が目立つ
- ・関東以南の干潟で越冬し、東京湾ではほぼ通年見られる



いすみ市夷隅川河口干潟 2007.8.4 (F)

トウネン

Calidris ruficollis

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や砂浜

特徴：全長15cm

- ・夏羽では頭部が赤褐色
- ・冬羽は全体に灰褐色
- ・小さなシギで、当年生まれと思われたのが名の由来



いすみ市夷隅川河口干潟 2007.8.25 (F)

キリアイ

Limicola falcinellus

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や砂浜

特徴：全長16cm

- ・嘴の先端がやや下に曲がる
- ・白い眉斑は2本に分かれ、頭部が縞模様に見える
- ・トウネンとハマシギの中間くらいの大きさ



九十九里町作田 2006.1.12 (Na)

ハマシギ

Calidris alpina

分類：チドリ目シギ科

出現：秋～春 海岸や水田

旅鳥として通過するものと越冬するものがある

特徴：全長21cm

- ・冬羽は、頭部や上面が灰色
- ・嘴は長くやや下に曲がる
- ・夏羽では腹部に黒色斑



一宮町一宮川河口 2007.8.27 (T) (幼羽)

サルハマシギ

Calidris ferruginea

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や水田

特徴：全長20cm

- ・夏羽は頭部から胸、腹が赤褐色になることから顔の赤いサルの名がついた
- ・嘴は細長く先が下に曲がる



一宮町一宮川河口 2005.9.8 (T)

アカアシシギ

Tringa totanus

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や水田

特徴：全長28cm

- ・赤っぽい脚が印象的
- ・夏羽は黒い太めの縦斑が密
(同じく脚の赤いツルシギは下
嘴の基部のみが赤い)

鳴声：「ピー チョイチョイ」



一宮町一宮川河口 2004.8.30 (T)

アオアシシギ

Tringa nebularia

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や水田など
少数越冬する

特徴：全長32cm

- ・頭部から胸が灰褐色
- ・嘴は基部が淡色でやや上に反
る(よく似たコアオアシシギ
の嘴は黒く反らない)

鳴声：「チョーチョーチョー」



いすみ市大原漁港 2008.8.20 (F)

キアシシギ

Heteroscelus brevipes

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や河口、岩
場などに普通に見られる

特徴：全長25cm

- ・胸から脇まで灰褐色の横斑が
あり、腹から下尾筒は白い
(よく似たメリケンキアシ
シギは下尾筒まで横斑がある)

鳴声：「ピュイー」



いすみ市和泉浦海岸 2007.9.3 (F)

ミユビシギ

Crocethia alba

分類：チドリ目シギ科

出現：秋～春 砂浜や干潟

九十九里浜では多数越冬

特徴：全長19cm

- ・砂浜で波打ち際を忙しく走り回り餌を探す
- ・他のシギと違い足指は3本
- ・夏羽は頭部から胸が赤褐色



習志野市谷津干潟 2007.8.12 (N)

ソリハシシギ

Xenus cinereus

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や水田

特徴：全長23cm

- ・嘴が上に反っている
- ・忙しく歩き回り餌を探す
- ・脚は淡橙色



一宮町一宮川河口 2006.9.19 (T) (幼羽)

オオソリハシシギ

Limosa lapponica

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や河口

特徴：全長39cm

- ・嘴は長くやや上に反る
- ・大型のシギで、脚も長い
- (よく似たオグロシギは嘴が反っておらず、尾羽が黒い)



鴨川市浜菰 2007.12.14 (F)

チュウシャクシギ

Numenius phaeopus

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟や河口・岩磯・水田・農耕地など

特徴：全長42cm

- ・嘴が下にカーブ
- ・カニをよく食べている

鳴声：「ホイビビビビビビ」



船橋市三番瀬 2008.12.9 (F)

ダイシャクシギ

Numenius arquata

分類：チドリ目シギ科

出現：主に冬 干潟や河口

特徴：全長58cm

- ・嘴が長く下に大きく湾曲
- ・腹が白く、腰や下尾筒、翼下面なども白色

鳴声：大きな声で「ホーイン」



いすみ市夷隅川河口左岸 2005.4.2 (F)

ハウロクシギ

Numenius madagascariensis

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 広い干潟や河口

個体数は少ない

特徴：全長63cm

- ・嘴はダイシャクシギより長く大きく湾曲
- ・体下面は下尾筒まで淡褐色

鳴声：「ホーイン」と大声



一宮町一宮川河口 2004.9.22 (T)

ヘラシギ

Eurynorhynchus pygmeus

分類：チドリ目シギ科

出現：春・秋 干潟・砂浜・湿地・水田など 稀

特徴：全長15cm トウネン大

- ・スプーンのような嘴で、頭を左右に振りながら採餌
- ・トウネンの群れに交ざることもある



いすみ市夷隅川河口左岸 2007.5.3 (F)

セイタカシギ

Himantopus himantopus

分類：チドリ目セイタカシギ科

出現：通年 干潟や水田・湖沼 東京湾沿いの地域で繁殖

特徴：全長37cm

- ・長く赤い脚と細長い嘴
- ・頭頂部の黒色の模様は個体によって差がある



成東町木戸浜 2004.12.10 (Na)

ミヤコドリ

Haematopus ostralegus

分類：チドリ目ミヤコドリ科

出現：通年 海岸や干潟

東京湾では夏季も少数見られる

特徴：全長45cm

- ・頭部から胸、背は黒く、体下面は白い
 - ・赤く長い嘴が目立つ
- 鳴声：「ピリーッ」



いすみ市夷隅川河口干潟 2006.5.4 (F)

コアジサシ

Sterna albifrons

- 分類：チドリ目カモメ科
出現：夏 海岸や河口・沼
東京湾岸や九十九里浜などで営巣
特徴：全長24cm
・頭は黒いが、額が白い
・嘴は黄色で先端が黒い
鳴声：「キリッ キリッ」



いすみ市夷隅川河口干潟 2008.5.7 (F)

アジサシ

Sterna hirundo

- 分類：チドリ目カモメ科
出現：春・秋 海岸や干潟・河口、時には沖合を多数通過
特徴：全長36cm
・額から後頸が黒い
・嘴は黒く、脚も黒いがやや赤みを帯びる
鳴声：「キッ」「キュッ」



横芝光町木戸海水浴場 2008.6.28 (Na)

ベニアジサシ

Sterna dougallii

- 分類：チドリ目カモメ科
出現：夏 海岸や干潟 稀
特徴：全長39cm
・下面は淡いピンクを帯びる
・嘴は赤く先端が黒いが、繁殖期直前には黒くなる
・南西諸島で繁殖し、千葉県では迷行記録が増加



旭市飯岡漁港 2006.7.7 (N)

エリグロアジサシ

Sterna sumatrana

分類：チドリ目カモメ科

出現：夏 砂浜や干潟 稀

特徴：全長31cm

- ・全体に白く、過眼線から後頭にかけて黒い
- ・コアジサシよりやや大きい
- ・南西諸島で繁殖し、千葉県には台風などで迷行



一宮町一宮川河口 2007.8.20 (T)

ハシブトアジサシ

Gelochelidon nilotica

分類：チドリ目カモメ科

出現：春・秋 海岸や干潟 稀

特徴：全長39cm 大型のアジサシ

- ・嘴が黒くて太い
- ・干潟でカニなどを採食
- ・夏羽では頭が黒くなる



一宮町一宮川河口 2004.5.25 (T)

クロハラアジサシ

Chlidonias hybridus

分類：チドリ目カモメ科

出現：夏～秋 海岸や湖沼

印旛沼では少数が越冬

特徴：全長26cm

- ・夏羽では額から後頭と胸や腹が黒く、嘴は赤い
- ・冬羽では、額は白く頭はごま塩状で、嘴は黒になる



一宮町一宮海岸 2007.12.17 (F)

コクガン

Branta bernicla

分類：カモ目カモ科

出現：冬 沿岸や港 稀

特徴：全長61cm

- ・体は黒く、首にレースのような模様の白い輪がある
- ・脇と尻が白い
- ・海岸で生活する唯一のガン類で海藻（海草）などを食べる



習志野市谷津干潟 2008.11.18 (F) (左:雄 右:雌)

ヒドリガモ

Anas penelope

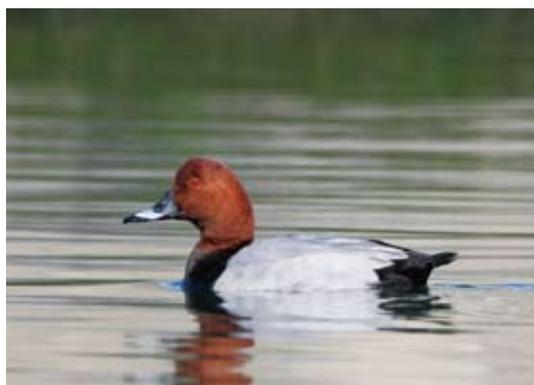
分類：カモ目カモ科

出現：冬 海岸や河口・池

特徴：全長49cm

- ・雄は額から後頭がクリーム色で、頭部から首は茶褐色
- ・雌は全体に褐色
- ・海藻などを食べている

鳴声：「ピュー」と口笛のよう



いすみ市塩田川河口 2008.2.18 (F) (雄)

ホシハジロ

Aythya ferina

分類：カモ目カモ科

出現：冬 湖沼や河口・内湾

汽水域や淡水域に多い

特徴：全長45cm

- ・雄の頭部から首は赤茶色
- ・雌は頭部から胸までが褐色



いすみ市塩田川河口 2008.4.6 (F) (前:雄 奥:雌)

キンクロハジロ

Aythya fuligula

分類: カモ目カモ科

出現: 冬 湖沼や河口・内湾

特徴: 全長40cm

- ・雄の頭は紫色の光沢がある黒色、後頭には冠羽
- ・雌は全体に黒褐色



いすみ市塩田川河口 2008.3.22 (F) (左:雌 右:雄)

スズガモ

Aythya marila

分類: カモ目カモ科

出現: 冬 内湾や河口

東京湾で多数が越冬

特徴: 全長45cm

- ・雄の顔や胸は黒く、顔には緑の光沢がある
- ・キンクロハジロと異なり、雄の背中中は白っぽい
- ・雌は嘴の基部が白い



いすみ市大原漁港 2008.11.25 (F) (雄)

クロガモ

Melanitta nigra

分類: カモ目カモ科

出現: 冬 砂浜海岸沿岸

九十九里浜では、春先に大群が見られる時がある

特徴: 全長48cm

- ・雄は全身が黒く、上嘴の基部はこぶ状で黄色
- ・雌は全体に黒褐色



一宮町一宮海岸 2003.12.18 (T) (雄)

ビロードキンクロ

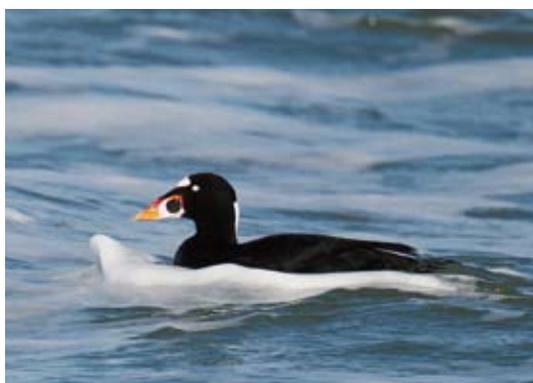
Melanitta fusca

分類：カモ目カモ科

出現：冬 砂浜海岸沿岸など

特徴：全長55cm

- ・雄は全体が黒く、目の下が白い
- ・雌は全体に黒褐色で目の前後に白斑がある
- ・クロガモと一緒に貝などを捕っていることが多い



一宮町一宮海岸 2008.1.7 (I) (雄)

アラナミキンクロ

Melanitta perspicillata

分類：カモ目カモ科

出現：冬 沿岸 稀

千葉県では大変珍しい

特徴：全長51cm

- ・雄は全体に黒く、額と後頸に白斑
- ・嘴は独特の模様



一宮町一宮海岸 2006.1.10 (T) (雄)

ホオジロガモ

Bucephala clangula

分類：カモ目カモ科

出現：冬 沿岸や湖沼・川

特徴：全長45cm

- ・雄の頭は緑色光沢のある黒
- ・嘴基部に白斑
- ・雌は頭部が暗褐色で白い首輪があり、顔の白斑はない



いすみ市夷隅川河口左岸 2007.4.14 (F)

ダイサギ

Egretta alba

分類：コウノトリ目サギ科

出現：通年 干潟や水田・湖沼

特徴：全長90cm

- ・夏は嘴が黒く、目先は青緑
- ・冬は嘴が黄色、目先は黄緑
- ・口角は目の後方を越えて伸びる点でチュウサギと区別



いすみ市夷隅川河口干潟 2007.8.2 (F)

カラシラサギ

Egretta eulophotes

分類：コウノトリ目サギ科

出現：干潟や水田等

世界的に数の少ない鳥だが、千葉県にも時折出現

特徴：全長65cm

- ・夏羽では房状の冠羽
- ・嘴は夏は黄色で冬は黒褐色



いすみ市夷隅川河口干潟 2008.5.5 (Na)

クロツラヘラサギ

Platalea minor

分類：コウノトリ目トキ科

出現：干潟や水田・湿地 稀

特徴：全長74cm

- ・へらのような嘴
- ・成鳥夏羽では胸や喉・冠羽が橙黄色になる
(ヘラサギは目先の裸出部が狭く、嘴の先も黄色になる)



一宮町一宮海岸 2004.2.5 (T)

ハヤブサ

Falco peregrinus

分類：タカ目ハヤブサ科

出現：秋～春 海岸や河口等

特徴：全長♂42cm ♀49cm

- ・頭部は黒く、目から頬にひげ状の黒斑
- ・翼の先がとがって見える
- ・水鳥が一斉に飛び立つことでハヤブサの存在を知ること多い



南房総市根本 2008.3.3 (F)

トビ

Milvus migrans

分類：タカ目タカ科

出現：通年 海岸に多い

特徴：全長♂59cm ♀69cm

- ・最も普通に見られるタカ類
 - ・翼の裏は茶褐色で外側に白斑が一つずつある
- 鳴声：「ピーヒョロロ」とよく鳴く



一宮町一宮川河口 2003.12.22 (T)

ミサゴ

Pandion haliaetus

分類：タカ目タカ科

出現：秋～春 河口や湖沼等

特徴：全長♂54cm ♀64cm

- ・腹は白く、胸に黒褐色の帯があるものとなないものがある
- ・ホバリングを行い水中に飛び込み魚を捕らえる

6 沿岸や外洋の鳥

千葉県沿岸では、いろいろなカモメ類やヒレアシシギ類、ウミスズメ類、ミズナギドリ類が見られます。さらに外洋ではアホウドリ類やトウゾクカモメ類、カツオドリなどが見られることもあります。

海鳥を見に船に乗ってみませんか。



銚子市沖



銚子市沖 2008.6.25 (M)

コアホウドリ

Diomedea immutabilis

分類：ミズナギドリ目アホウドリ科

出現：主に冬～初夏 沖合

特徴：全長80cm

- ・翼を広げると2mにもなる
- ・背と翼の上面が黒褐色
(アホウドリは背中が白い)



東京都小笠原村聳島 1994.6 (Ta)

クロアシアホウドリ

Diomedea nigripes

分類：ミズナギドリ目アホウドリ科

出現：主に初夏 沖合

特徴：全長70cm

- ・全身が黒褐色で、嘴の付け根や目の下が白い
- ・ミズナギドリ類に交ざって漁船の後ろにつくこともある



銚子市沖 2008.5.23 (F)

オオミズナギドリ

Calonectris leucomelas

分類：ミズナギドリ目ミズナギドリ科

出現：3～11月 沿岸で見られ、海鳥の中で一番数が多い

特徴：全長49cm

- ・頭部が白と黒褐色のごま塩
- ・翼の下は、風切が黒く白色部とのコントラストが目立つ
- ・水面ぎりぎりを薙ぐように飛び続ける



銚子市沖 2008.5.23 (F)

ハシボソミズナギドリ

Puffinus tenuirostris

分類：ミズナギドリ目ミズナギドリ科

出現：主に4～6月 沿岸

特徴：全長42cm

- ・全身が黒褐色
- ・初夏に北上する若い個体が多く見られ、荒天に会い多数が海岸に漂着することもある
- ・潜水して主にオキアミ類などのプランクトンを捕食



銚子市沖 2008.5.23 (F)

ハイイロミズナギドリ

Puffinus griseus

分類：ミズナギドリ目ミズナギドリ科

出現：主に4～6月 沿岸

特徴：全長43cm

- ・ハシボソミズナギドリより首や嘴が長く見え、飛び方もゆっくりで力強い
- ・潜水して魚やイカなどを捕食



銚子市沖30km 2008.5.23 (F)

アカアシミズナギドリ

Puffinus carneipes

分類：ミズナギドリ目アホウドリ科

出現：主に春・夏 沿岸

個体数は少ない

特徴：全長43cm

- ・嘴と脚が淡いピンク色
- ・全身は黒褐色
- ・はばたきはゆるやか



北海道知床沖 2004.7.18 (Y)

ハイイロウミツバメ

Oceanodroma furcata

分類：ミズナギドリ目ウミツバメ科

出現：沖合 海が荒れた時など、まれに海岸近くに飛来

特徴：全長21cm

- ・全身が淡青灰色
- ・目の周りや嘴、脚は黒い



東京都小笠原村父島 2008.2.29 (S)

オーストンウミツバメ

Oceanodroma tristrami

分類：ミズナギドリ目ウミツバメ科

出現：沖合 伊豆諸島や小笠原諸島で繁殖し、本県で見られるウミツバメ科の鳥では最も多いと言われる

特徴：全長25cm

- ・ウミツバメ類では最大級
- ・全身黒褐色で、飛翔時、翼の上面に淡褐色の帯が見える



鋸南町勝山漁港 2008.9.1 (F) (成鳥雌)

カツオドリ

Sula leucogaster

- 分類：ペリカン目カツオドリ科
出現：主に夏 沿岸
伊豆諸島や小笠原諸島、八重島諸島などで繁殖
特徴：全長73cm
- ・全身がほぼ黒褐色だが、腹部は白い
 - ・嘴は淡黄色で、雄は目の周りが青い



銚子市川口町 1989.8 (Y)

コグンカンドリ

Fregata ariel

- 分類：ペリカン目グンカンドリ科
出現：主に夏 沿岸 稀
特徴：全長79cm
- ・翼は長く先がとがる
 - ・尾はツバメの尾のような形
 - ・幼鳥は頭部が色味を帯びた白色で、胸から腹は白い



いすみ市塩田川河口 2008.4.21 (F) (冬羽)

ハイイロヒレアシシギ

Phalaropus fulicarius

- 分類：チドリ目ヒレアシシギ科
出現：春・秋 沖合
特徴：全長21cm
- ・冬羽では嘴の基部が黄色
 - ・夏羽では顔が白く、全身が茶褐色になる



銚子市沖 2008.7.27 (F)

アカエリヒレアシシギ

Phalaropus lobatus

分類：チドリ目ヒレアシシギ科

出現：春・秋 沿岸や外洋など

特徴：全長18cm

- ・雌のほうが雄より橙色が鮮やか
- ・嘴は黒く、細くまっすぐ
- ・台風の影響などで、内陸に飛来することもある



北海道知床沖 2004.7.19 (Y) (淡色型)

トウゾクカモメ

Stercorarius pomarinus

分類：チドリ目トウゾクカモメ科

出現：沿岸 個体数は少ない

特徴：全長49cm ウミネコ大

- ・淡色型から暗色型までいろいろな羽色のパターンがある
- ・中央尾羽2枚が長く突き出し、先端が丸みを帯びてスプーンのように見える
- ・ミツユビカモメやアジサシを襲い餌を奪う



北海道色丹島沖 2005.7.3 (Y) (左：淡色型成鳥 右：幼鳥)

クロトウゾクカモメ

Stercorarius parasiticus

分類：チドリ目トウゾクカモメ科

出現：沿岸 個体数は少ない

特徴：全長44cm

- ・淡色型から暗色型まで様々
- ・中央尾羽の2枚が突き出し先端がとがっている
- ・ハシボソミズナギドリやアジサシを襲い餌を奪う



大洗～苫小牧航路 2008.3.12 (M)

ハシブトウミガラス

Uria lomvia

分類：チドリ目ウミスズメ科

出現：冬 沖 稀

特徴：全長46cm

- ・成鳥夏羽では、胸の白色部が喉のほうに食い込む
- ・ウミガラスに似るが、嘴が太く上嘴の基部に白線
(ウミガラスは極めて稀)



勝浦市鵜原海岸 2008.4.23 (F)

ウミスズメ

Synthliboramphus antiquus

分類：チドリ目ウミスズメ科

出現：冬～春 沿岸

特徴：全長26cm

- ・頭部が大きく体が丸い感じ
- ・嘴は短く淡肉色
- ・夏羽では喉が黒くなり、目の後方に眉状の飾り羽が出る



神奈川県三浦市沖 2007.3.21 (M)

カンムリウミスズメ

Synthliboramphus wumizusume

分類：チドリ目ウミスズメ科

出現：主に春 沿岸

日本近海で繁殖、数は少ない

特徴：全長24cm

- ・成鳥夏羽は頭頂に黒い冠羽
- ・目の上から後頸は白い
- ・冬羽はウミスズメの冬羽によく似る

7 海の鳥の生活

①何を食べているか

餌は、季節や地域、その時の条件などでいろいろと変わり単純ではありません。しかし、体のつくりや生活は、その鳥が主にどんな生物を食べているかに深い関係があり、鳥を観察する観点としてとても重要です。

魚を主に食べる鳥には、カイツブリ類、アビ類、ウ類、アイサ類など潜水の得意な鳥が多く、ミズナギドリ類やカモメ類は表層の魚を捕らえます。

クロガモやスズガモなどは貝類を丸飲みし、筋胃で割って消化します。シギ・チドリ類は、干潟や砂浜の小さな甲殻類やゴカイ類などの底生生物を食べています。ハシボソミズナギドリのようにオキアミなどのプランクトンを多く食べる鳥もいますし、コクガンやヒドリガモのように海藻を食べている鳥もいます。

海で生活する鳥の特徴に塩類腺（塩腺）があります。これは、血中の塩分濃度を調整する器官で、目のわきにあり、食べ物とともに飲み込んだ余分な塩分を鼻から排出します。



ヒメウ

②飛び方

トビなどが行っているように、上昇気流を利用して、羽ばたかないで飛ぶ飛び方をソアリング（帆翔）といいます。

アホウドリ類やミズナギドリ類は、海面上をジグザグに飛ぶことで、風の強さの違いを利用して長時間羽ばたかないで飛び続けることができます。この飛び方を特にダイナミックソアリングといいます。



コアジサシ

③千葉県で繁殖している海の鳥

千葉県で繁殖している海の鳥はとても少なく、オーストラリアなどから飛来するコアジサシが砂地や礫地に営巣します。

海岸周辺で繁殖している鳥としては、シロチドリ、クロサギ、イソヒヨドリ、トビ、ヒメアマツバメなどの留鳥とコシアカツバメ、アマツバメなどの夏鳥が挙げられます。

④広範囲な渡りをする海の鳥

千葉県に飛来する海の鳥の多くが冬鳥です。国内でも繁殖をしているウミネコやウミウなどもいますが、カモメ類やカモ類、アビ類、カイツブリ類などの冬鳥のほとんどが日本よりさらに北の地域で子育てをしています。

シギ・チドリ類は、シベリアなどの日本より北の地域で繁殖をしますが、冬はオーストラリアなどの日本より南の地域で越冬するため、日本列島を春と秋に通過する旅鳥となります。

アホウドリ類は離島で繁殖しますが、非繁殖期は太平洋を広範囲に移動することが知られています。アジサシ類にも長距離を渡る種類が知られています。このように海の鳥には、大変広範囲に地球上を移動して暮らしているものがたくさんいます。

海の鳥については、生活ばかりでなく、いつ・どこに見られるのかといった基本的なことでもまだわからないことがたくさんあります。ぜひ、皆さんも海の鳥の観察に挑戦してみましょう。

8 索引

ア	アオアシシギ	18	サ	サルハマシギ	17
	アオサギ	12	シ	シノリガモ	9
	アオバト	11		シロエリオオハム	10
	アカアシシギ	18		シロカモメ	5
	アカアシミズナギドリ	31		シロチドリ	15
	アカエリカイツブリ	8	ス	スズガモ	25
	アカエリヒレアシシギ	33	セ	セイタカシギ	21
	アジサシ	22		セグロカモメ	4
	アビ	10	ソ	ソリハシシギ	19
	アラナミキンクロ	26	タ	ダイサギ	27
イ	イソシギ	14		ダイシャクシギ	20
	イソヒヨドリ	11		ダイゼン	16
	イワツバメ	13	チ	チュウシャクシギ	20
ウ	ウミアイサ	9	ト	トウゾクカモメ	33
	ウミウ	7		トウネン	16
	ウミスズメ	34		トビ	28
	ウミネコ	6	ハ	ハイロウミツバメ	31
エ	エリグロアジサシ	23		ハイロヒレアシシギ	32
オ	オーストンウミツバメ	31		ハイロミズナギドリ	30
	オオセグロカモメ	5		ハシジロアビ	11
	オオソリハシシギ	19		ハシブトアジサシ	23
	オオハム	10		ハシブトウミガラス	34
	オオミズナギドリ	30		ハシボソミズナギドリ	30
カ	カツオドリ	32		ハジロカイツブリ	8
	カモメ	6		ハマシギ	17
	カラシラサギ	27		ハヤブサ	28
	カワウ	7	ヒ	ヒドリガモ	24
	カンムリウミスズメ	34		ヒメアマツバメ	13
	カンムリカイツブリ	9		ヒメウ	7
キ	キアシシギ	18		ビロードキンクロ	26
	キョウジョシギ	14	ヘ	ベニアジサシ	22
	キリアイ	17		ヘラシギ	21
	キンクロハジロ	25	ホ	ホウロクシギ	20
ク	クロアジアホウドリ	29		ホオジロガモ	26
	クロガモ	25		ホシハジロ	24
	クロサギ	12	ミ	ミサゴ	28
	クロツラヘラサギ	27		ミツユビカモメ	6
	クロトウゾクカモメ	33		ミミカイツブリ	8
	クロハラアジサシ	23		ミヤコドリ	21
コ	コアジサシ	22		ミユビシギ	19
	コアホウドリ	29	ム	ムナグロ	16
	コクガン	24	メ	メダイチドリ	15
	コグンカンドリ	32		メリケンキアシシギ	14
	コサギ	12	ユ	ユリカモメ	4
	コシアカツバメ	13	ワ	ワシカモメ	5

9 参考図書 (もっとくわしく知るために)

図鑑

桐原政志・山形則男・吉野俊幸 (2000) 「日本の鳥550 水辺の鳥」文一総合出版

真木広造・大西敏一 (2000) 「日本の野鳥590」平凡社

高野伸二 (2007) 「フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂版」日本野鳥の会

箕輪義隆 (2007) 「海鳥識別ハンドブック」文一総合出版

千葉県の鳥について

千葉県生物学会 (編) (1999) 「千葉県動物誌」文一総合出版

桑原和之・箕輪義隆・石黒夏美・嶋田哲郎 (2000) 「東京湾の鳥類」たけしま出版

千葉県 (2000) 「千葉県の自然誌 本編7」(財)千葉県史料研究財団

田久保晴孝 (2001) 「三番瀬・四季の野鳥たち」風濤社

田村満 (2008) 「盤洲・富津干潟周辺の野鳥」うらべ書房

10 写真提供 (50音順 敬称略)

池田 文隆 (NPO法人房総自然博物館)	(撮影者名の略 I)
鈴木 創 (小笠原自然文化研究所)	(撮影者名の略 S)
高島 齋二 (千葉市野鳥の会)	(撮影者名の略 T)
立川 浩之 (千葉県立中央博物館分館海の博物館)	(撮影者名の略 Ta)
長屋ゆみ子 (千葉市野鳥の会)	(撮影者名の略 Na)
奴賀 俊光 (千葉市野鳥の会)	(撮影者名の略 N)
羽賀 秀樹 (千葉大学海洋バイオシステム研究センター)	(撮影者名の略 H)
布留川 毅 (千葉県立中央博物館分館海の博物館)	(撮影者名の略 F)
箕輪 義隆 (千葉市野鳥の会)	(撮影者名の略 M)
米持 千里 (千葉市野鳥の会)	(撮影者名の略 Y)

海の生き物観察ノート⑧

海の鳥を観察しよう

2009年(平成21年)3月31日発行

編集・発行 千葉県立中央博物館分館 海の博物館

〒299-5242 勝浦市吉尾123

執筆担当 布留川 毅 (海の博物館 分館長)

電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.html>

(本誌掲載内容の無断転載をお断りします)

Coastal Branch of Natural History Museum and Institute, Chiba



CHIBA